



浜田ダム再開発工事

平成29年12月1日発行

# 再開発だより

第16号

## ■JVあいさつ（工事現況）

平素より地域の皆様には大変お世話になっております。  
 今年も気がつけばもう12月になり、寒さも厳しくなってきました。寒くなると脳梗塞、心筋梗塞が発生しやすくなります。予防には生活習慣を改善することが大事なポイントですが、就寝前や起床時にコップ1杯の水を飲むのも有効だそうです。冬場は夏場に比べると水分の補給が少なくなり、血液がドロドロになりやすく血管が詰まる恐れがあるからです。  
 さて現場の状況ですが、来年2月に予定しています、ダムからの放流を左岸から右岸へ転流するために右岸側の工事を急ピッチで進めています。ダム下流では、減勢工の副ダム・導流壁、最下流の護岸の構築を行っています。  
 放流管改造工事では、既設放流管の鉄板の内側にステンレス板を張り付け補強し、上流側の呑み口部に流木が流入しない様にスクリーンを取り付けます。  
 その他に、前回の工事ピックスでお伝えしたA-CR工法で堤体に直径2.0mの穴を明けた場所に直径1.5mのステンレス製の空気を据付け既設コンクリートと空気の隙間にモルタルを充填しています。  
 空気の役割は、降雨によりダムの水位が上がり、放流管の中を沢山の水が流れる時、今回の工事で放流管から流れる流量を調整するため呑み口を少し絞ったので水がスムーズに流れないため、放流管に空気を供給するための管です。

## ■浜田ダム再開発工事現況

① 堤体上流面 平成29年10月



平成29年12月



② 堤体下流側 平成29年10月



平成29年12月





## ■工事トピックス

浜田ダムは今回の工事が完成すれば、約10年後にダム上流から流れてくる土砂が放流管を通り、下流のバケットカーブを経て減勢工に溜まり、副ダムの両側のスリット(幅1.0m)から下流ダムに流出します。そのために、放流管内部にステンレスを貼り、バケットカーブのコンクリートもステンレスで補強し、減勢工は通常のコンクリートの約2倍の強度のコンクリートを打設し、副ダムのスリットもステンレスを貼って補強しています。これは流出土砂によりコンクリートや鉄が摩耗しないための補強です。下に各施工状況の写真を掲載します。

放流管ステンレスライニング(下流方向)



放流管ステンレスライニング(上流方向)



バケットカーブステンレスライニング



バケットカーブステンレスライニング



副ダムスリット部ステンレスライニング



副ダムスリット部ステンレスライニング



## ■お知らせ

『年末年始休日について』

当現場では、12月29日(金)から1月4日(木)までを年末年始休日とさせていただきます。

休日期間もダム天端上を安全に通行できるよう、整理整頓を心掛けます。

1月5日(金)からの工事再開後も、引き続き安全作業で頑張ります！

発行・お問い合わせ先

鹿島・フクタ・祥洋特別共同企業体 浜田ダム再開発工事務所 HPアドレス <http://renew-hamadadam.jp/>

〒697-0011 浜田市後野町2246-31

TEL.0855-25-5356 FAX.0855-25-0077